

第186回中小企業景気動向調査（県西地区）結果速報

（令和3年10月～12月期実績と令和4年1月～3月期の見通し）

さがみ信用金庫総合企画部

調査日	令和3年12月上旬
調査地域	小田原市、南足柄市、秦野市、足柄上郡、足柄下郡、中郡
全調査先数	当庫取引先317社
調査対象	当庫取引先314社（製造業27.7%、卸売業11.1%、小売業16.2%、サービス業18.5%、建設業18.5%、不動産業8.0%）
有効回答率	99.1%
分析方法	各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（DI・判断指数）を中心にして分析を行いました。

1. 概況

売上DI・収益DI・業況DIはそれぞれ大幅改善

前期（令和3年7月～令和3年9月期実績）
 今期（令和3年10月～令和3年12月期実績）
 来期（令和4年1月～令和4年3月期予想）

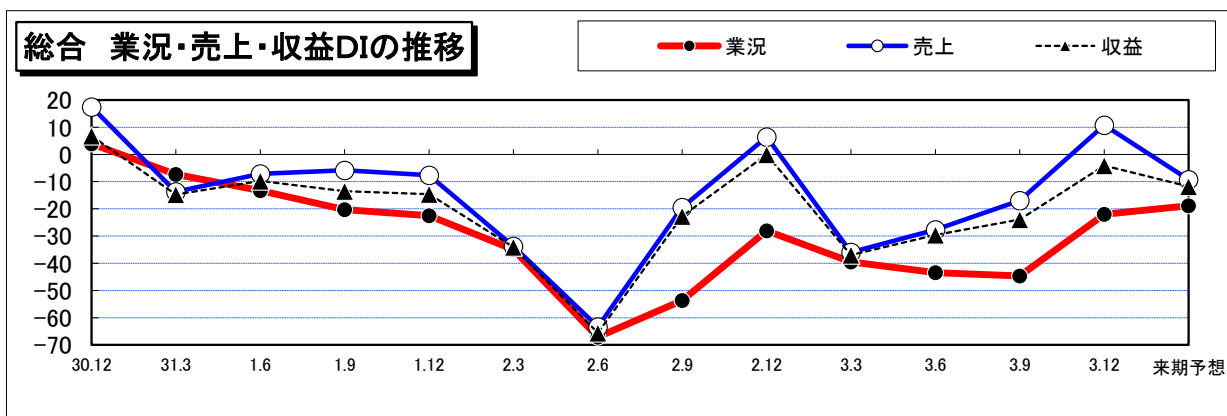
「第186回中小企業景気動向調査」によると、景況感を表す業況DIは前期比22.7ポイント改善の▲22.0となりました。また、売上DIは27.7ポイント改善の10.8となり、収益DIは19.9ポイント改善の▲4.1となりました。

業種別の状況については、「製造業」・「卸売業」・「小売業」・「サービス業」は売上DI、収益DI、業況DIがそれぞれ改善となりました。また、「建設業」は売上DI、業況DIが改善した一方で、収益DIは悪化となり、「不動産業」は業況DIが改善し、売上DI・収益DIは横這いとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響を引き続き受けるなか、「製造業」は全業種で唯一のプラス水準（3年振り）となりました。

来期については、売上DIは20.1ポイント悪化の▲9.3となり、収益DIは7.7ポイント悪化の▲11.8となる見込みです。また、業況DIは3.1ポイント改善の▲18.9となる見通しです。

業種別では、売上DIは全業種が悪化となり、収益DIは「不動産業」が横這い、その他の業種は悪化となる見通しです。また、業況DIは「製造業」・「不動産業」が悪化となる一方で、その他の業種は改善となる見通しです。



業種別業況天気図	令和2年 10月～12月	令和3年 1月～3月	令和3年 4月～6月	前期 令和3年 7月～9月	今期 令和3年 10月～12月	来期見通し 令和4年 1月～3月
総合	☁	☂	☂	☂	☁	☁
製造業	☂	☂	☂	☂	☁	☁
卸売業	☂	☂	☂	☂	☂	☂
小売業	☁	☂	☂	☂	☂	☁
サービス業	☁	☂	☂	☂	☂	☂
建設業	☁	☁	☁	☁	☁	☁
不動産業	☁	☁	☁	☁	☁	☁

好調 ← ☀ ☁ ☂ ☃ ☄ → 低調
 （業況DI目安） 100 ← 50 ← 30 ← 0 → ▲30 → ▲50 → ▲100

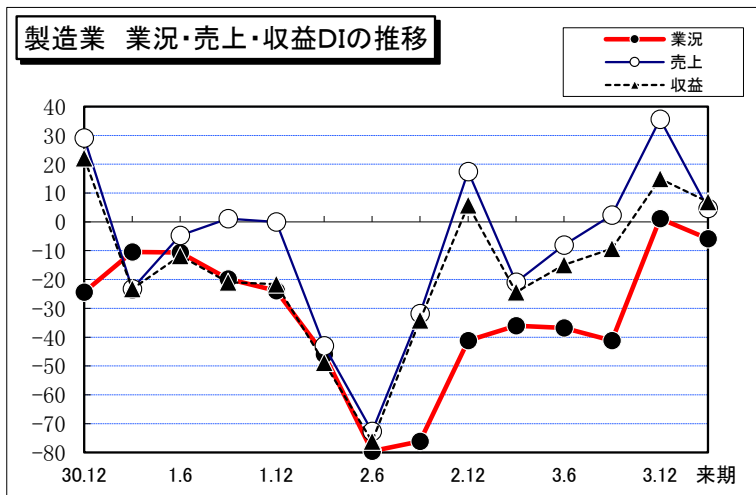
2. 業種別の特徴(業況DI・売上DI・収益DI)

製造業

売上・収益・業況DIはそれぞれ大幅改善

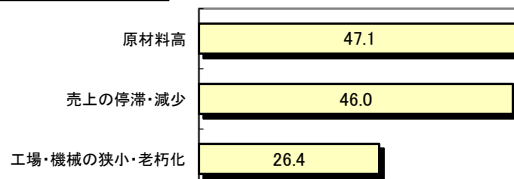
(業況DI) 前期比42.3ポイント改善の1.1、来期見通し▲5.8

来期については収益・業況DIは悪化し、売上DIは大幅悪化となる見通しです。



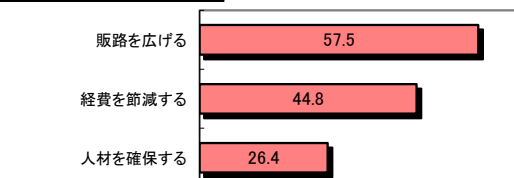
経営上の問題点

単位: %



当面の重点経営施策

単位: %

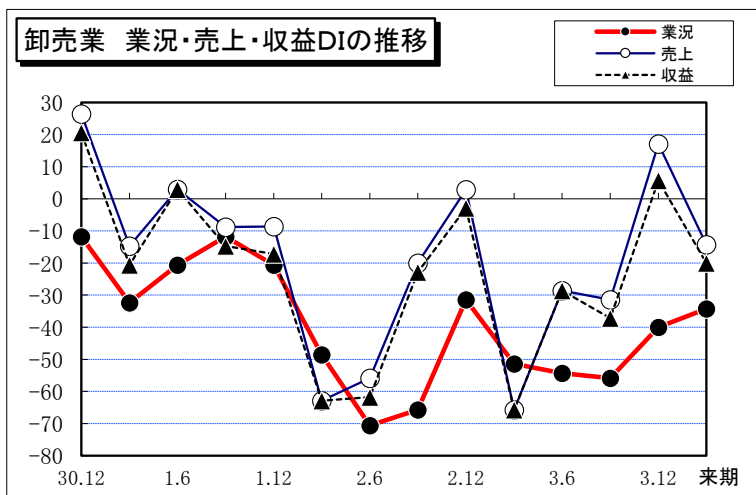


卸売業

売上・収益・業況DIはそれぞれ大幅改善

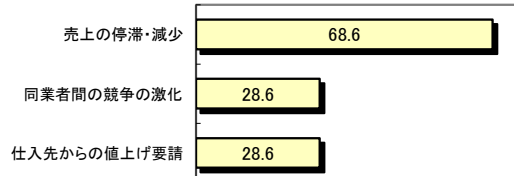
(業況DI) 前期比15.9ポイント改善の▲40.0、来期見通し▲34.3

来期については売上・収益DIは大幅悪化も、業況DIは改善となる見通しです。



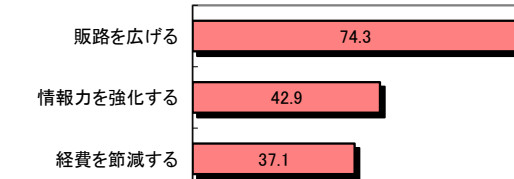
経営上の問題点

単位: %



当面の重点経営施策

単位: %

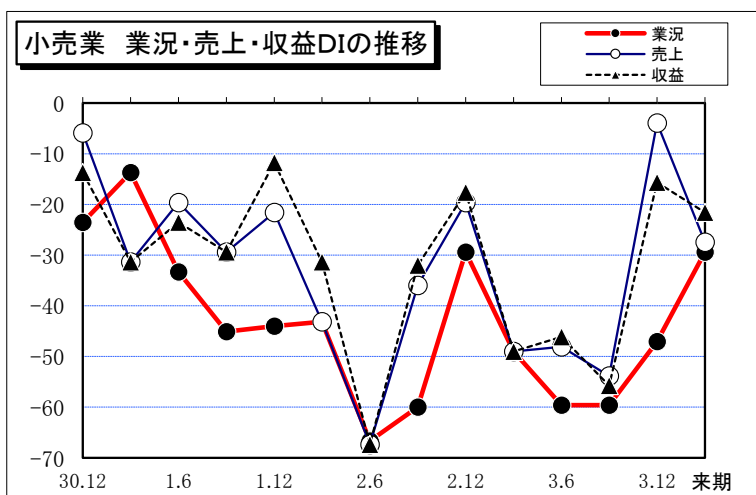


小売業

売上・収益・業況DIはそれぞれ大幅改善

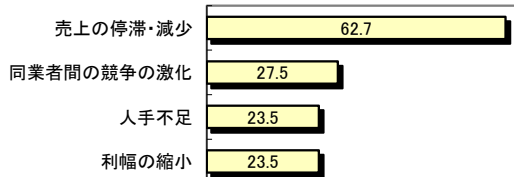
(業況DI) 前期比12.5ポイント改善の▲47.1、来期見通し▲29.4

来期については売上DIは大幅悪化、収益DIは悪化も、業況DIは大幅改善となる見通しです。



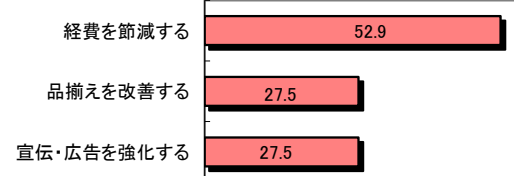
経営上の問題点

単位: %



当面の重点経営施策

単位: %

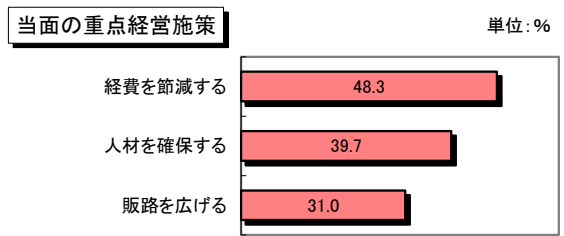
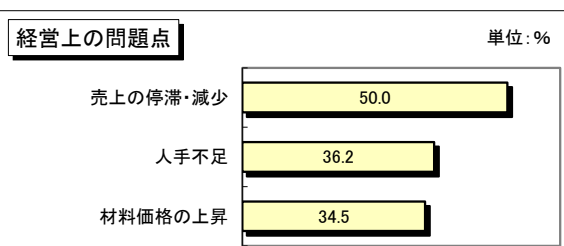
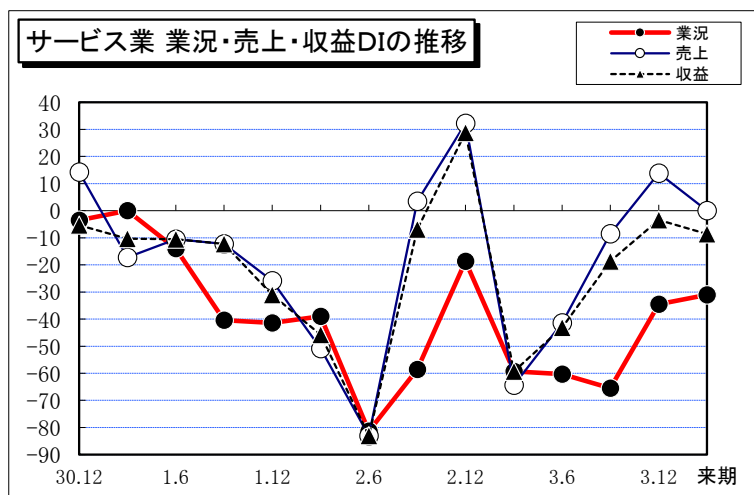


サービス業

売上・収益・業況DIはそれぞれ大幅改善

(業況DI) 前期比31.0ポイント改善の▲34.5、来期見通し▲31.0

来期については売上DIは大幅悪化、収益DIは悪化も、業況DIは改善となる見通しです。

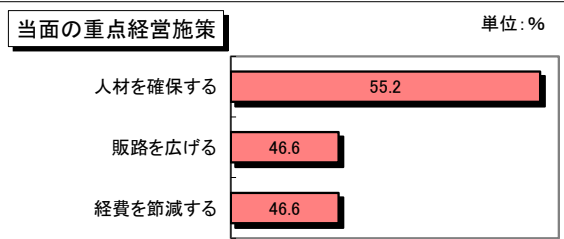
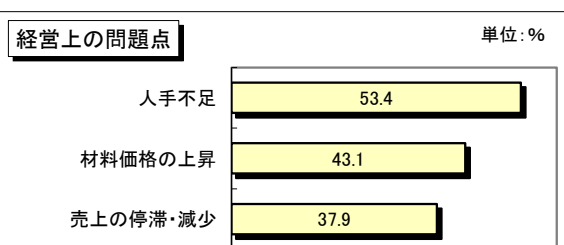
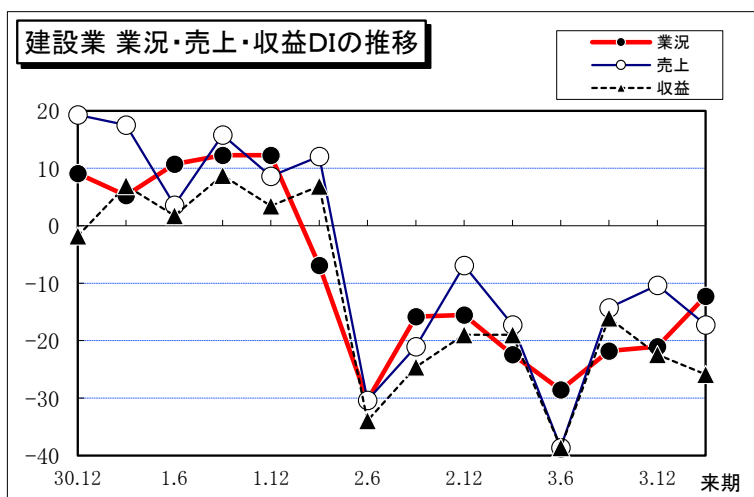


建設業

売上DIは改善、収益DIは悪化となり、業況DIは改善

(業況DI) 前期比0.7ポイント改善の▲21.1、来期見通し▲12.3

来期については売上・収益DIは悪化も、業況DIは改善となる見通しです。

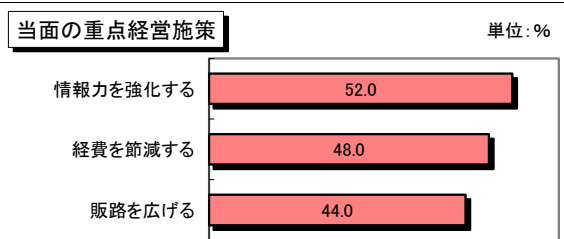
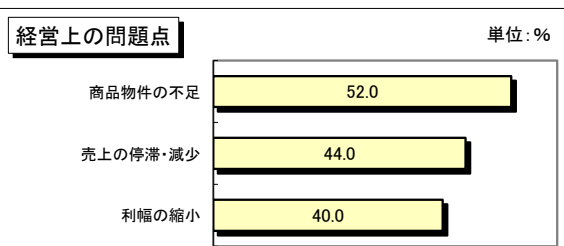
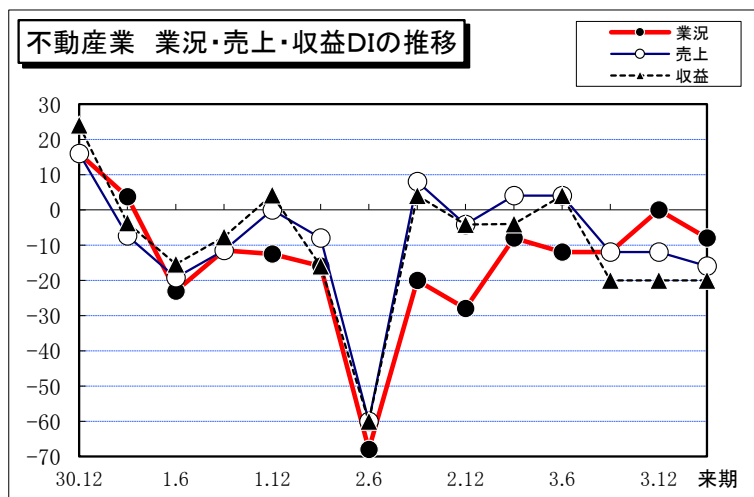


不動産業

売上・収益DIは横這い、業況DIは大幅改善

(業況DI) 前期比12.0ポイント改善の0.0、来期見通し▲8.0

来期については売上DIは悪化、収益DIは横這い、業況DIは悪化する見通しです。

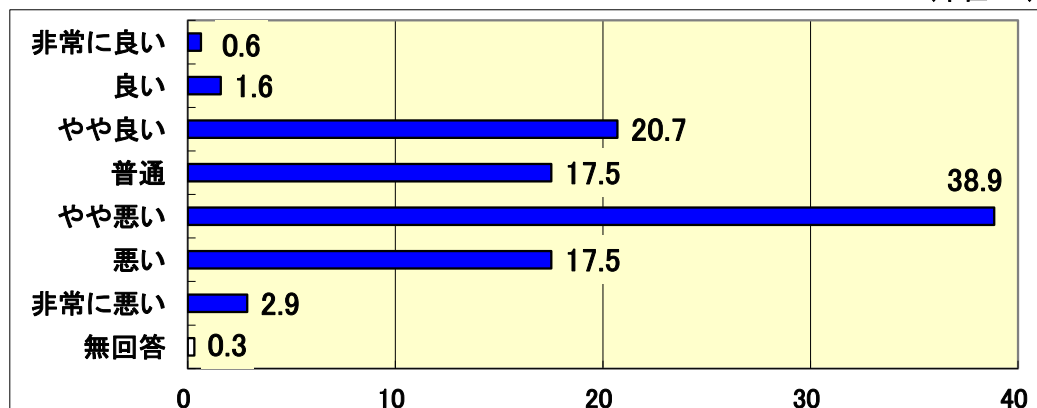


3. 特別調査 「2022年(令和4年)の経営見通し」

《問1》

貴社では、2022年の日本の景気をどのように見通していますか。

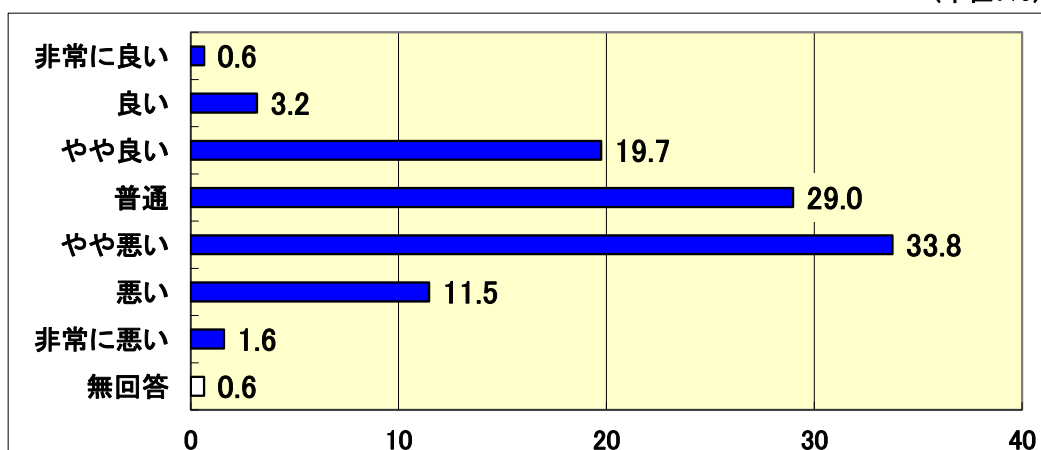
(単位:%)



《問2》

貴社では、2022年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

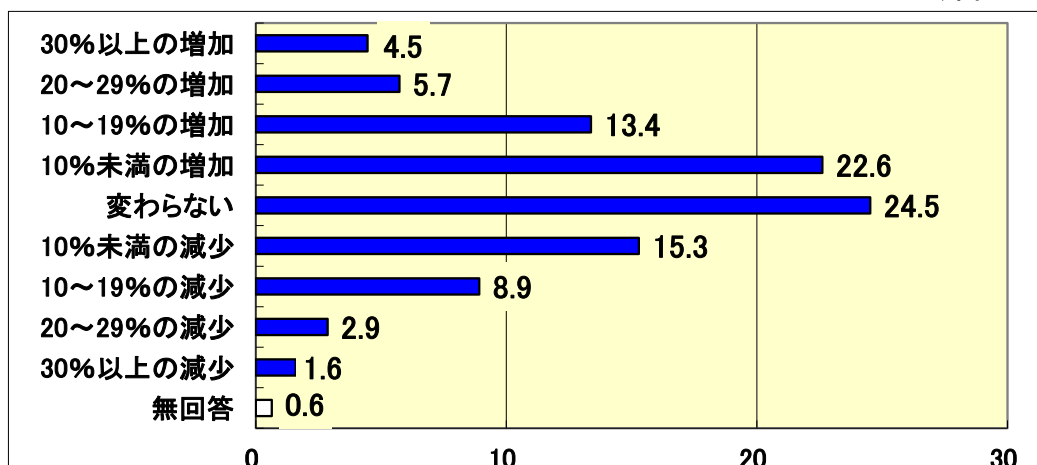
(単位:%)



《問3》

2022年において貴社の売上額の伸び率は、2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

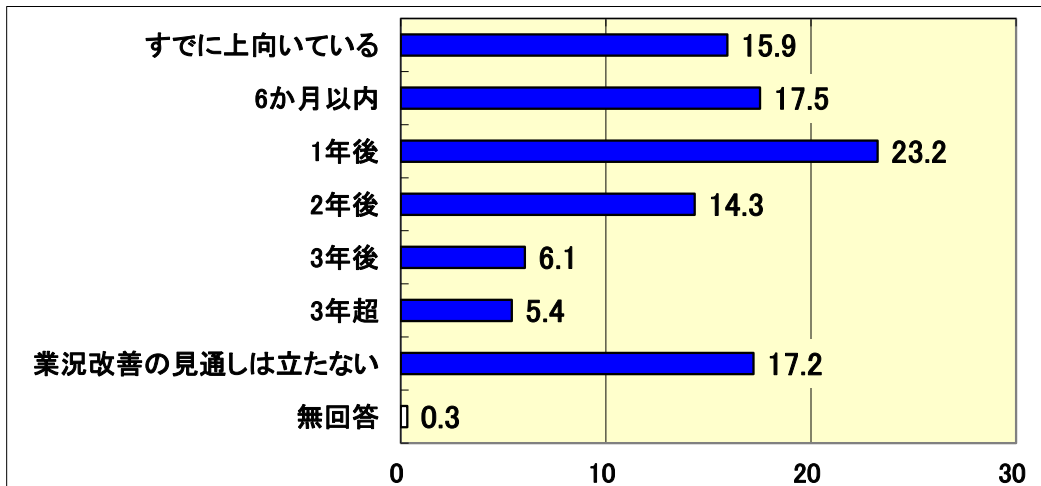
(単位:%)



《問4》

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

(単位:%)

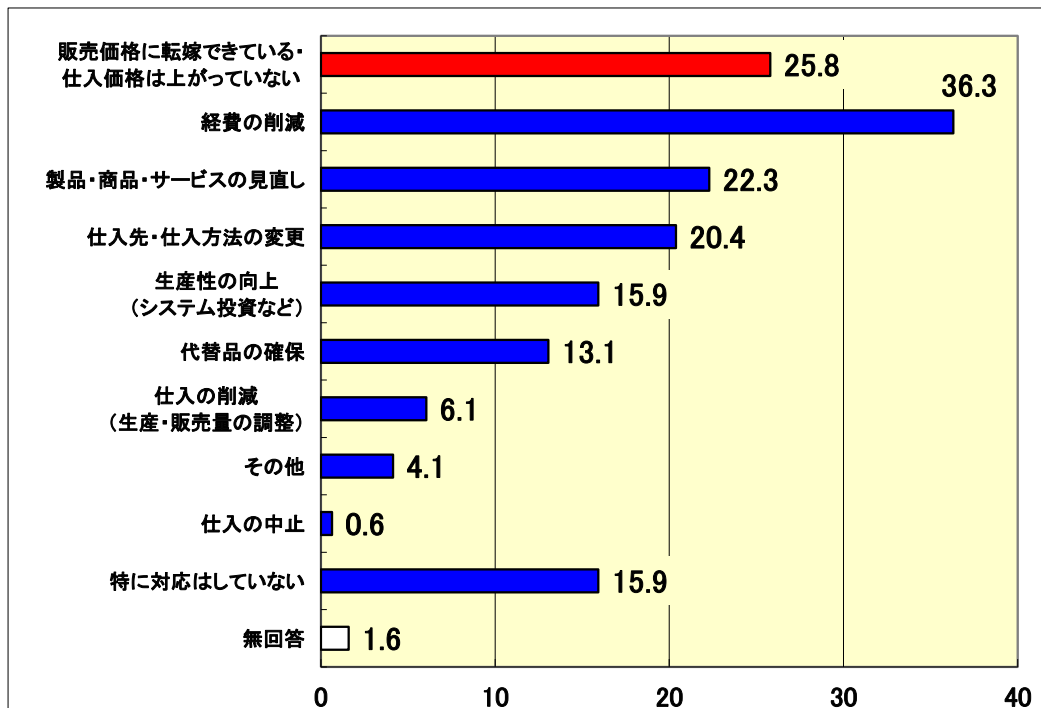


《問5》

様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。

複数回答

(単位:%)



調査内容の詳細をご覧になりたい方は、下記までご連絡ください。

さがみ信用金庫総合企画部：TEL 0465-24-3162

E-mailアドレス：souki@sagami-shinkin.co.jp